

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)天神3丁目計画 新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.1	
Q1 室内環境					0.40		-	3.2	
1	音環境			4.0	0.15	3.3	1.00	3.6	
	1.1 室内騒音レベル	—		3.0	0.50	3.0	0.50		
	1.2 遮音			5.0	0.50	3.7	0.50		
	1 開口部遮音性能	T-2以上		5.0	1.00	5.0	0.30		
	2 界壁遮音性能	—			-	2.0	0.30		
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-45			-	4.0	0.20		
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50			-	4.0	0.20		
	1.3 吸音	—			-		-		
2	温熱環境			2.6	0.35	3.3	1.00	3.0	
	2.1 室温制御			2.2	0.50	3.7	0.50		
	1 室温	—		3.0	0.63	3.0	0.63		
	2 外皮性能	日本住宅性能表示基準:等級5		1.0	0.38	5.0	0.38		
	3 ゾーン別制御性	—			-		-		
	2.2 湿度制御	—		3.0	0.20	3.0	0.20		
	2.3 空調方式	—		3.0	0.30	3.0	0.30		
3	光・視環境			2.7	0.25	3.3	1.00	3.0	
	3.1 昼光利用			3.0	0.30	3.0	0.30		
	1 昼光率	—		3.0	0.60	3.0	0.50		
	2 方位別開口	—			-	3.0	0.30		
	3 昼光利用設備	—		3.0	0.40	3.0	0.20		
	3.2 グレア対策			2.0	0.30	4.0	0.30		
	1 昼光制御	専有部:カーテンと庇(バルコニー)の2種類の組み合わせで制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
	3.3 照度	—		3.0	0.15	3.0	0.15		
	3.4 照明制御	—		3.0	0.25	3.0	0.25		
4	空気質環境			3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
	4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63		
	1 化学汚染物質	F☆☆☆☆、VOCの放散量が少ない建材をほぼ全面的に採用して		4.0	1.00	4.0	1.00		
	4.2 換気			3.0	0.40	3.0	0.38		
	1 換気量	—		3.0	0.50	3.0	0.33		
	2 自然換気性能	—			-	3.0	0.33		
	3 取り入れ外気への配慮	—		3.0	0.50	3.0	0.33		
	4.3 運用管理				-		-		
	1 CO ₂ の監視	—			-		-		
	2 喫煙の制御	—			-		-		
Q2 サービス性能				—	0.30	—	—	3.3	
1	機能性			3.0	0.40	3.4	1.00	3.2	
	1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	4.0	0.60		
	1 広さ・収納性	—			-		-		
	2 高度情報通信設備対応	100Mbitクラスの「ブロードバンド」利用可能			-	4.0	1.00		
	3 バリアフリー計画	—		3.0	1.00		-		
	1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	2.5	0.40		
	1 広さ感・景観	住居の天井高さ2.5m以上			-	4.0	0.50		
	2 リフレッシュスペース	—			-		-		
	3 内装計画	—		3.0	1.00	1.0	0.50		
	1.3 維持管理			3.0	0.30		-		
	1 維持管理に配慮した設計	—		3.0	0.50		-		
	2 維持管理用機能の確保	—		3.0	0.50		-		
2	耐用性・信頼性			3.3	0.30		-	3.3	
	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.2	0.50		-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	—		3.0	0.80		-		
	2 免震・制震・制振性能	免振構造を採用		4.0	0.20		-		
	2.2 部品・部材の耐用年数			3.7	0.30		-		
	1 躯体材料の耐用年数	品確法:劣化対策等級3		5.0	0.20		-		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	—		2.0	0.20		-		
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	LD:床フローリングt12,壁ビニールクロス(PBt12.5),天井ビニールクロス		4.0	0.10		-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	—		3.0	0.10		-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	・給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用		5.0	0.20		-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔	—		3.0	0.20		-		
	2.4 信頼性			3.0	0.20		-		
	1 空調・換気設備	—		3.0	0.20		-		
	2 給排水・衛生設備	—		3.0	0.20		-		
	3 電気設備	—		3.0	0.20		-		
	4 機械・配管支持方法	—		3.0	0.20		-		
	5 通信・情報設備	—		3.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		3.4	0.30	3.6	1.00	3.5
	3.1 空間のゆとり			-	4.2	0.50	
	1 階高のゆとり	階高:3.0m以上		-	5.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-		-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-		-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.4	1.00		-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性	ケーブルラック、PF配管配線による	5.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性	ケーブルラック、PF配管配線による	5.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準:等級5	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	2.0	0.10		-	2.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.76	5.0	0.50		-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価			-		-	
	4.1 モニタリング	-		-		-	
	4.2 運用管理体制	-		-		-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50		-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水	節水水栓に加え節水便器の採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60		-	3.4
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用、PS・天井内配管により設備との錯綜を回避	5.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20		-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
	1 消火剤	-	-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用	4.0	0.50		-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	LCCO2/参照値以下	4.1	0.33		-	4.1
2	地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音	-	3.0	1.00		-	
	2 振動	-	-	-		-	
	3 悪臭	-	-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制	-		-		-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70		-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30		-	